

鳥取市立病院 第3回とことん学ぶ研修会
(公財)地域社会振興財団 第525回 現地研修会

事前申込不要

参加費
無料
定員100名

うちげの整形外科治療

スポーツ整形からロボット手術・外傷治療まで

開催日時

令和7年 10月25日(土)

13時00分～16時30分

場 所

とりぎん文化会館 第1会議室

(鳥取県立県民文化会館) 座数199席



座長(根津 智史)からひと言 **信頼感と地域密着を意識**

このたび鳥取市立病院整形外科では、地域の皆さまに向けた公開講演会を開催いたします。整形外科の最新の取り組みを知っていただくとともに、当院が東部医療圏の中核的病院として、地域の皆さまにどのような医療を提供しているか、ご紹介したいと思います。

今回は、最先端のロボット手術についてもやさしく解説します。医療に関心のある方はもちろん、普段なかなか病院に行く機会のない方にも、知っていただきたい内容です。ぜひ多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

プログラム

12:30 【受 付】

13:00 【開 会】

開会挨拶

鳥取市立病院患者サポートセンター長
網谷 憲治

公益財団法人地域社会振興財団
参事兼課長補佐 勝部 恵

【講 演】

「スポーツ整形」

鳥取市立病院 整形外科
医師 根津 智史

「整形外科手術支援
ロボットって??」

鳥取市立病院 整形外科
医師 河村 涌志

「骨折と骨粗鬆症について」

鳥取市立病院 整形外科
医師 中河 直輝

「リハビリテーションについて」

鳥取市立病院 リハビリテーション部
理学療法士 下村 教光

【パネルディスカッション】

テーマ:「整形外科治療について」

コーディネーター

鳥取市立病院 整形外科 医師 根津 智史

パネリスト

鳥取市立病院 整形外科 医師 河村 涌志

鳥取市立病院 整形外科 医師 中河 直輝

鳥取市立病院 リハビリテーション部

理学療法士 下村 教光

16:30 【閉 会】



主催:鳥取市立病院 共催:公益財団法人地域社会振興財団 後援:学校法人自治医科大学

お問い合わせ先:鳥取市立病院 地域医療総合支援センター TEL.0857-37-1522(代)

当院から
お知らせ

人工関節手術支援ロボットを 2機種導入！

鳥取東部地区に最先端の医療技術を

この度当院では、人工関節手術のさらなる精度向上と患者さんの負担軽減を目的として、鳥取県東部地区では初めてMako（メイコー）とROSA（ロザ）の2台の人工関節ロボットを導入することとなりました。

これまでも当院では人工股関節置換術においてポータブルナビゲーションによるコンピュータ支援を受けて手術しておりましたが、今回導入するロボット支援手術は人工股関節置換術だけでなく人工膝関節全置換術でも事前の詳細な手術計画とリアルタイムの調整を可能にし、より正確な骨切りと適切なインプラント設置を実現します。その結果、術後の機能回復の向上や合併症リスクの低減が期待されます。また、手術の個別最適化が進むことで、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供できるようになります。

鳥取県東部地区は21万人の医療圏で高齢化率は31%とも言われ、さらに高齢化が進むことが予想されることから、変形性股関節症や変形性膝関節症に対する人工関節手術の需要が高まり、当院でも人工関節手術の症例数増加が見込まれます。人工関節ロボット導入によりインプラント設置の正確性が担保されるだけでなく、術者や手術室スタッフの負担減も期待できます。

この度導入した人工関節ロボットを活用した低侵襲で安全な手術を推進し、引き続き地域の皆様により良い医療を提供してまいります。

河村 涌志
整形外科 医長



stryker社

Mako

ロボティックアーム手術支援システムによる
人工股関節／膝関節全置換手術

鳥取県
初導入
2025年2月現在



Zimmer Biomet 合同会社

ROSA Knee System

ロボットアシストで人工膝関節置換術を
低侵襲かつ合併症リスクを低減

鳥取県東部
初導入
2025年2月現在



これらのロボットを用いた手術の費用は保険適用となり、高額療養制度の対象です。